

マウイ島（北限界線）での皆既日食観測

山田 美幸

昨年、私にとって初めての皆既日食（シベリア）が雨に降られ、今年こそと意気込んで、9月1日ハワイ～メキシコ日食の計画をたてました。都合もあって観測地をハワイに決め、さっそくハワイ島のホテルへ予約電話をしましたが、すでに日食ツアーなどでホテルがとれず、やむなくマウイ島南端カウボ周辺を観測地としました。

カウボへ行くためには、道路が非常に悪いため、4WDの自動車を借りました。現地発行の日食新聞によると10日PM6:00から通行止めとなっており、結局ハナ方面の通行禁止区域手前のパーキングゾーンを観測地に決めました。

10日PM7:00 カルフィを出発しました。途中から雨が降り始め、そのあたりから周囲も急に緑が深くなり、道路状況もかなり悪く、道順があっているかどうかさえ解らないまま、対向車のほとんどない道を走らせました。時折バケツの水をひっくり返したような雨に降られ、翌日の日食に不安を抱きながらも、3時間後ようやく目的地へ着き、心なしかほっとしました。パーキングには、かなりの台数の車があり、簡易トイレまで設置されていて、通行禁止となっている道路には、交通整理の方が次々と来る車の誘導をしていました。途中車などほとんど見あたらなかったはずなのに、意外に多く驚きました。マウイ島でも、日食フィーバーはかなりのものだったようです。

車中で一晩過ごし、翌11日AM6:00を過ぎても雨は一向に止む気配を見せませんでした。6:20には小雨になり、30分過ぎには、かなり小降りになって一時雨が止み、少し明るい雲が見えたときなど「これはもしかしたらもしかするかも」と期待をしました。6:56から3分位はまるで台風のような暴風雨となり、7:00頃には又小雨状態になったりと、何回かこのような状態の繰り返しでした。7:20になると日食観測をあきらめたと思われる車が、1台又1台と引き替えしていくようになりました。

雨は7:28頃からは小雨状態となり、周囲も徐々に暗くなって、周りがざわめき始め、車から外に出る人が多くなりました。30分過ぎ皆既となり、車のクラクションを鳴らしたり、口々に「ブラボー」と叫んだり、歓喜の声をあげて祝っていました。わずか1分少々の皆既日食も終わり、徐々に明るくなり始め、5分もすると、もう元の明るさに戻ってしまい、40分過ぎても相変わらずの雲にあきらめ、小雨の降る中その場を去りました。

AM10:30にカルフィの町に戻り、1時間もすると太陽が見え始め、とても強い日差しと変わってしまいました。カルフィでは部分日食が雲間から見えたとの事です。気象状況など全く考えずにマウイへ行ってしまうましたが、どうやら雨の降り易い地域だったとようです。観測地へ行く途中のおおいかぶさる様なシダ類の樹木や滝のとっても多い場所でした。あれだけの雲だったのですから、さぞかしハワイ島も雨で見えなかったのだろうと思っていたのですが、どうやらマウイ島だけだったようでとても残念でなりませんでした。午後日食後の太陽を仰ぎながら、メキシコはきっと晴れているんだなと思いつつ、マウイ島をあとにしました。